

分析機器部門講習会シリーズ

組織標本の多重染色と
Phenolmager による画像解析の紹介

近年、疾患を特徴づける多様なバイオマーカーが同定されることから、それらの臨床的意義の解明がますます重要となっています。一次抗体の由来動物の組み合わせを考慮することなく複数のバイオマーカーを同時に検出できるこの技術は、組織内での細胞間相互作用や空間的分布を高解像度で解析でき、病態の理解や新たな治療法の開発に寄与します。

* 本講習会では、分析機器部門に未導入の機器・技術について紹介します。

【日 時】 2024 年 12 月 4 日（水）15:30～16:30

【紹介機器】 Opal 組織多重免疫染色試薬・PhenoImager (Akoya Biosciences)

【対 象】

- 同じ動物由来の抗体の組み合わせで組織を多重免疫染色したい方
- 現在の多重染色の抗体の種類を増やしたい方
- 陽性細胞率の定量をしたい方
- 免疫細胞を組織上でフェノタイピングしたい

【講習内容】 FFPE 組織切片を用いた免疫染色(IHC)の多重染色技術を解説し、多重染色した組織標本のイメージング・定量解析技術を紹介します。

【会 場】 WEB セミナー（Microsoft Teams）

【申込期間】 開催当日 セミナー終了まで

【申込方法】 以下の URL または QR コードよりご登録ください。

<https://events.teams.microsoft.com/event/2f1a1cce-bf2c-4e7e-a904-6ad6ad63ff9e@9aa9f4fb-da7a-4a5c-b529-40e63fbe407e>

登録はこちら



お問合せ先

医学教育研究支援センター分析機器部門

担当：依藤（内線 2404）、古川（内線 5782）

Email：yorifuji.eri.y8[at]f.mail.nagoya-u.ac.jp

furukawa.mayumi.z7[at]f.mail.nagoya-u.ac.jp

（送信の際は[at]を@に変えてください）

申込時にいただいた個人情報は、「東海国立大学機構個人情報保護規程」に基づき適切に管理いたします。
詳しくは、ホームページをご参照ください。 <https://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/objectives/protection/index.html>

組織標本の多重染色と 染色標本の組織イメージ解析の紹介

臨床研究における活用事例の紹介

日程： 2024 年 12月 4日 (水曜日)
時間： 15:30から16:30 (質疑応答含む)
形式： WEBセミナー (Microsoft Teams)
演者： 野村 守 キコーテック株式会社

登録はこちら



お問い合わせ： キコーテック株式会社生駒 ikoma@kiko-tech.co.jp

本セミナーでは、FFPE組織切片を用いた免疫染色(IHC)の多重染色技術を解説し、多重染色した組織標本のイメージング・定量解析技術を紹介します。併せて本技術を活用した最近の研究事例を臨床研究を中心に紹介します。

主なトピック

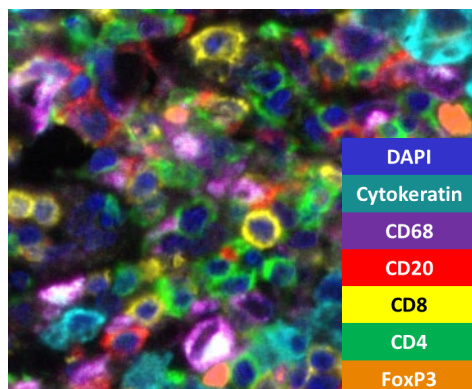
近年の解析技術によるマーカー探索と臨床研究における検証
FFPEの蛍光多重染色とスペクトルイメージングを用いた組織解析
Vectra Polarisの実際のアプリケーションについて最近の論文事例から紹介

- ・がん免疫研究における活用事例
- ・腫瘍微小環境における免疫状態の解析
- ・空間解析的アプローチによる免疫状態の評価法
- ・腫瘍マーカーの発現解析

このような要望を解決するソリューションです。

- ・ 同じ動物由来の抗体の組み合わせで組織を多重免疫染色したい。
- ・ 陽性細胞率の定量。
- ・ 免疫細胞を組織上でフェノタイピングしたい

多重染色染色：FFPE切片、Vectraで撮影



免染標本の定量解析

